

BIG BEN

- p1 今年も多い会員参加型イベント
- p2 写真探訪 : Japanese Knotweed
- p3 領事だより : 関税手続きの注意
- p4-5 短信 : 「文庫活動 40 周年」他
- p6 在英邦人数
- p6 退任の挨拶 : 日本人学校管野事務局長
- p7 エッセー : 正しさの証明
- p8 クラブサロン・同好会案内

日英交流促進委員会の行事

今年も会員参加型イベントがたくさん

毎年日本クラブ会員が直接参加できる行事を企画している日英交流促進委員会（五百旗頭義高委員長）の今年の行事の大枠が判明した。詳しい日時がまだ決まっていないものもあるが、決まり次第会員向け「お知らせメール」で告知されることになっている。

< 恒例行事 >

◇年次ゴルフ大会：6月4日(日)

毎年メイドンヘッドゴルフ場において行われる日本クラブ最大のゴルフイベント。会員であれば誰でも参加できる。詳細はP3及び日本クラブ・ホームページ参照

◇ジャパン祭り：9月24日(日)(予定)

第9回目を迎える恒例の「ジャパン祭り」は、今年もロンドンのトラファルガー広場で開催される。日本クラブも主催者の一翼を担っており、当日は会員からボランティアを募って供出する。



昨年のジャパン祭り

◇クリサンシマムカップ：10月1日(日)

1924年より続く日本クラブとメイドンヘッド・ゴルフクラブの日英対抗ゴルフ大会。昨年はメイドンヘッドGCが勝利している。



昨年の日本庭園清掃作業

◇ハマースミス公園日本庭園清掃作業：10月8日(日)

1910年の日英博覧会の際に造園された日本庭園の清掃作業。毎年日本クラブよりボランティアを出して池の藻除去や樹木の剪定をしている。日本クラブから日本食弁当と水が支給される。

(2面へ続く)

＜開催日未定の行事＞

◇ワイナリー見学バスツアー：9月末・10月初

過去2年間大好評だったサリーのドーキングにあるデン
ビーズ・ワイナリーの見学バスツアーを今年も開催。ブ
ドウの収穫時に1回または2回企画する。



昨年のワイナリー見学

◇東インド会社ティー・テイスティング：開催日未定

東インド会社(East India Company)のロンドン旗艦店
で、同社のティーマスターによるティーに関する講義を
受け、数種類のティーを試飲する。

◇クリスティーズ・オークション見学：開催日未定(秋)

クリスティーズでは毎年秋に日本の骨董芸術品のオーク
ションを開催しているが、会場でそのオークションを見
学する。

◇サウスバンク・シティー散策ツアー：開催日未定

日本クラブを含むシティー周辺を歩いて回る散策ツアー
を数回開催する予定。ガイドは歴史やエピソードなどシ
ティーに関する知識の豊富なお馴染みの坂次健司さん。

◇ジン工場見学バスツアー：開催日未定

ロンドンからバスで南西2時間ほどのハンプシャーのウイ
トチャーチにある
Bombay Sapphire
Distilleryを見学す
る初企画。6 - 7
月の日曜日に予定
されている。子供
の参加も可能。



ボンベイ・サファイア・ジン蒸留所

日英交流促進委員会の行事は会員相互の親睦と、イギ
リスに関する知識を増やすことと、イギリス滞在をよ
り豊かにするために企画されています。原則的には会
員であれば誰でも参加できますが、催し物によっては
応者多数のため抽選によって参加者を決めることもあ
ります。これらの行事は諸事情により変更されること
もありますので、「お知らせメール」にご留意ください。

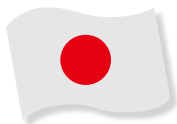
写真探訪 Around London

【Japanese Knotweed】

イギリス各地でジャパニーズ・ノットウィードという日本産の雑草が問題になっている。これは日本名イタドリとい
うタデ科の多年草で、今でこそ雑草として嫌われているが、もともとはビクトリア時代にプラントハンターが『早く
育つ東洋の珍しい植物』ということで観賞用に持ち込んだのが始
まりと言われている。繁殖力が強く一度根を下ろすとあっという
間に広がり、3月に芽が出たと思うと1ヶ月ぐらいで高さ2メー
トルぐらいに成長する。コンクリの割れ目やアスファルトを突き
破って育つ成長力を持ち、除草剤を使っても翌年また生えてくる。
ロンドンでも空き地や河川敷などでブッシュを形成しているのを
よく見かける。全国的に撃退作戦が展開されているが、特効薬は
なく、英国政府は日本からイタドリの汁を吸って枯らしてしまう
キジラミの一種を輸入して撲滅に乗り出している。

(Harringayで 文・写真：加藤節雄)





領事便り

在英日本国大使館 領事 竹内 誠治



税関手続きを甘く見てはいけません!!

最近、海外への旅行や出張は珍しいものではなくなりました。海外に居住する人や、日本と海外を頻繁に行き来する方も右肩あがりが増えていています。これに伴って、海外でトラブルに遭う方も増えているのですが、そのトラブルは事故や犯罪に起因するものだけではなく、出入国時の税関手続きに伴うものもあり、この種のトラブルは意外と多いのです。

以下、今回は私の前任地（東南アジアのT国）で起こった出入国時のトラブル事例の典型的なものをご紹介しますが、これ以外にも申告が義務づけられているものがありますので、ご旅行前には各国ごとの「海外安全情報」の「安全対策基礎データ」を参照いただくとともに、特に高額な物品、多額の現金・トラベラーズチェック等を携行する場合には、事前に渡航先国の大使館、総領事館に確認するようお願いいたします。

「T国」入国に際してのご注意

（免税品の持ち込み）

たばこ等の持ち込み ～「知らなかった」は通用しない
厳格な取締まり、一時的な預かりでもダメ！～

【事例概要】

空港において、入国手続きの際、団体旅行グループの1人が、全員分のたばこ及び酒類を一時的に預かり、「T国」内に持ち込んだところ、当局が、同人物を職務質問。十数カートンのたばここと数十本の酒類を発見し、

「違法」であると判断して、摘発。

「T国」物品税局では、たばこ及び酒類の不法持ち込みで当局により摘発された者に対し、高額な罰金を科しています。たばこについては、紙巻きたばこであれば200本（1カートン）、葉巻等であれば250gまで、また酒類については1リットルまで免税での持ち込みが認められます。これら免税たばこや酒類等について、規定量を超えて「T国」内に持ち込もうとした場合、税関検査で摘発されると高額な罰金を科せられる上、物品も全て没収されます。こうした検査・摘発は「T国」当局の主権・判断に係わる事項ですので、在外公館が摘発された人に代わって交渉したり、判断に異議を唱えたりすることはできません。摘発を不服として罰金支払を拒否した場合や罰金が支払えない場合には裁判となりますが、その間、身柄を拘束されることもあります。

海外へ渡航される皆様には、その国の法律を守り、快適な滞在をされるようお願いいたします。

※外務省海外安全ホームページ：
<http://www.anzen.mofa.go.jp>



年次ゴルフ大会 6月4日（日）

会員同士の友好と親睦を深めるために毎年開催されている年次ゴルフ大会は今年で第55回目になります。順位はダブルペリエ方式（隠



昨年優勝の鈴木康浩さん（右）

しホールによるハンディキャップ算出）で計算しますので、誰でも優勝のチャンスがあります。本年も豪華賞品が準備されています。日本クラブ会員であれば誰でも参加できます。奮ってご参加ください。

●第55回日本クラブ年次ゴルフ大会

2017年6月4日（日）8：30am 集合

会場：Maidenhead Golf Club

参加費用：£60（プレイ代、昼食代込み）

申し込みはホームページから：

www.nipponclub.co.uk/pdf/annualgolfevent2017.pdf

問い合わせ：

TEL:020-7921-9490（半田）

Email:m.handa@nipponclub.co.uk

短 信

COMMUNITY PLAZA



マイケル・ハワード卿叙勲

元保守党党首で日英 21 世紀委員会の英国側座長を務めた Lord Michael Howard 氏が平成 28 年秋の叙勲で旭日重光章を受章した。日本と英国間の相互理解の促進及び関係強化に寄与したことが認められた。叙勲伝達式は 2 月 23 日 (木) ロンドンの日本大使館で行われた。(写真①)



ジャニス・ブレナン氏表彰

英国法曹院ミドルテンブル幹部でバリスター (法廷弁護士) の Janice Brennan 氏が在外公館長表彰を受けた。ブレナン氏は日本と英国の法律家の交流促進に寄与したことが認められた。表彰式は 3 月 1 日 (水) にロンドンの日本大使公邸で行われた。(写真②)



スティーブン・マケナリー氏叙勲

前グレートブリテン・ササカワ財団事務局長の Stephen McEnally 氏が平成 28 年秋の叙勲で旭日小綬章を受章した。日英友好親善と対日理解の促進に寄与したことが認められたもの。叙勲伝達式は 3 月 2 日 (木) にロンドンの日本大使館で行われた。(写真③)



JET プログラム 30 周年

英国人の大学卒業者を日本へ招聘し、日本全国の小・中・高等学校で英語教師助手や地方自治体の国際交流委員として働いてもらう JET プログラム (Japan Exchange & Teaching Programme) が始まって今年で 30 年になる。英国からはこれまでに 1 万人以上が JET として日本に滞在している。3 月 16 日 (木) にはロンド

ンの国会議事堂上院内で JET 同窓会と日英議員連盟により祝賀レセプションが開催され、JET 同窓生を始め日英の関係者約 200 人が参列し 30 周年を祝った。(写真④は左よりロジャー・ゴッシフ日英議員連盟会長、セーラ・パーソンズ JET 同窓会会長、フランシス・デスーザ前上院議長、鶴岡公二大使)



塩見奈々さん「見立て百景」完成

在英の版画家塩見奈々さんがここ 20 年間日本の伝統的技法を使って「見立て百景」という木版画シリーズに挑戦してきたが、このたび 100 枚の版画が完成、展覧会と記念の版画集が出版された。左右、表裏、東西といった対象の存在に興味を持つ奈々さんの版画は一つの物を他の観点からも見るというコンセプトで対になっている

今年は文庫活動創立 40 周年

海外で暮らす子供たち(主に2-9歳)と母親が絵本を読みながら、ともに考え、ともに学ぶという活動が続ける文庫活動が始まって今年で40年になる。始まりは東京で、創始者はオパール・ダン夫人。ダン夫人の英国帰国(83年)に伴い文庫活動も英国に広がった。ロンドンでダン夫人にお話を伺った。「1970年代、日本のビジネスのグローバル化により、海外に赴任する人が増え、それに連れて帰国子女も増えました。特に英国から帰った子供たちのために英語だけでなく、英国の遊びや習慣を忘れないように英語の

絵本を集めた『ダンダン文庫』というミニ図書館を1977年に東京にオープンしました。」この文庫活動はすぐにドイツ語、フランス語へと広がり79年には国際児童文庫協会本部が設立されている。現在文庫活動は英、仏、中、米等世界11カ国に広がり、英国だけでも36の文庫が開設されている。「文庫活動の成功は非常に素晴らしいことです。時代とともにそのニーズに応じて来たことが原因かと思います。現在英国でも駐在員家庭だけでなく、国際結婚をした親、離婚した親、母親も日本語が話せない3

世の子供が増えています。日本語を含めた日本文化を楽しみながら習得する文庫



活動はますます重要になってきています。」子供の言葉と文化を維持し育むのはコミュニティであるというダン夫人の信念のもとで続ける文庫活動は世界中で広がりを見せている。

英国情報は www.kodomobunko.org.uk (英国支部長は森嶋瑠子氏)

(インタビュー・加藤節雄)



る作品が多い。

(写真⑤ 第99番作品「定引幕」)

●版画集「This Side and the Other Side」(見立て百景)

Babley Drawing Centre 刊

ISBN:978-0-9926817-4-6

Publication Price: £25(RRP£30)

P&P £3.99(UK)

Onlineで購入できる(以下アドレス)

<http://www.rableydrawingcentre.com/rabley-publications.html>

●展覧会「This Side and the Other Side」(見立て百景)

Babley Contemporary: Mildenhall, Marlborough, Wiltshire SM8 2LW

4月2日～5月13日(5月2日～7日休館) TEL:01672-511999

www.rableydrawingcentre.com

www.nanashiomi.co.uk



「沖縄デー」6月24日(土)

毎年恒例となっている「沖縄デー」が今年は6月24日に開催される。沖縄

民謡、古典音楽、舞踊、エイサー、空手、沖縄料理といった沖縄の伝統文化が一堂に会して披露される。在英の沖縄出身者だけでなく、沖縄を訪れたことのある英国人も出演者に加わり、沖縄文化の祭典を祝う。毎年約8,000人の入場者がある。(写真⑥)

●沖縄デー

日時: 6月24日(土) 10am - 6pm

会場: Spitalfields Market, Brushfield Street, London E1 6AA

地下鉄: Liverpool Street

入場無料 www.okinawaday.org.uk



小林賢太郎ロンドン公演

2年前のロンドン公演を成功させたパフォーマーの小林賢太郎が再びロンドン公演をする。マイムをベースにしたコメディータッチのパフォーマンスは奇妙におかしき日常的でもある。今回はパリ日本文化会館に続いてロンドン公演をする。(写真⑦)

●Mr.Potsunen's Peculiar Slice of

Life (ポツネン氏の奇妙で平凡な日々)

7月6日(木)～8日(土)

The Print Room at Coronet

103 Notting Hill Gate, London W11 3LB

入場料: £20-£28 (con.£16-£23)

www.the-print-room.org



葛飾北斎展

江戸時代の浮世絵師葛飾北斎の展覧会が開かれる。北斎(1760 - 1849)の「富嶽三十六景」は世界的に有名なが、今回の展覧会では彼の晩年30年の作品を中心に作風、時代背景、技法等を総合的に紹介する。

(写真⑧ 神奈川沖浪裏)

●Hokusai - beyond the Great Wave
The British Museum (Room35):
Great Russell Street, London WC1B 3DG

5月25日(木)～8月13日(日)

(7月3日～6日休み)

入場料: £12(16歳以下無料)

www.thebritishmuseum.org

「戦争と日本」の演奏に挑戦



戦争が音楽に与える影響を実際の演奏で表現するユニークなコンサートが3月4日(土)ロンドン大学キングス・カレッジで開催された。題して「戦争と日本」。主催したのは同大学の戦争研究学部、演奏

は在英日本人バイオリニストの植田リサさんとピアノのダニエレ・リナルドさんのデュオ。前半では武満徹に多大な影響を与えたドビュッシー(Violin Sonata)とオリビエ・メシアン(Theme and Variations)の曲を武満徹のDistance de la Feeを挟んで演奏、後半ではストラビンスキーの「3つの日本抒情詩」とDivertimentoが演奏された。

植田リサさんによると「戦争と日本」というどうしても第2次大戦を考えま

すが、第2次大戦に限らず戦争というものが音楽に与えた影響をいろいろ調べて選曲しました」とのこと。日本では第2次大戦中に西洋音楽が作曲されることはなかったが、第1次大戦中に抽象音楽を書いたドビュッシーや第2次大戦中に活躍したメシアンが第2次大戦後の武満に与えた影響、また第1次大戦を挟んで作風が変わったストラビンスキーの作品を演奏することにより、大戦を通じて作られた西洋音楽が戦後の日本の西洋音楽にも大きな影響を与えているということを示した。

在英邦人数 64,969 人 前年より 3,029人減少

【表1】在留邦人数及び増減状況（在留届出ベース）
（平成28年(2016)10月1日現在 在エディンバラ総領事館管轄2,264人を含む）

	合計			構成比	増減	対前年比
	男	女	計			
1 長期滞在者						
①民間企業関係者及び家族	9,241	8,600	17,841	27.46%	-739	-3.98%
②報道関係者及び家族	139	156	295	0.45%	-46	-13.49%
③自由業関係者及び家族	988	1,517	2,505	3.86%	-104	-3.99%
④留学生・研究者・教師及び家族	5,681	10,780	16,461	25.34%	-2,639	-13.82%
⑤政府関係職員及び家族	373	370	743	1.14%	-191	-20.45%
⑥その他	2,458	4,880	7,338	11.29%	-164	-2.19%
小計（①～⑥）	18,880	26,303	45,183	69.55%	-3,883	-7.91%
2 永住者	5,890	13,896	19,786	30.45%	+854	+4.51%
3 総数（1+2）	24,770	40,199	64,969	100.00%	-3,029	-4.45%

【表2】邦人の地理的分布

地域別	平成 28 年	平成 27 年
イングランド	62,050	65,132
大ロンドン市 （グレーター・ロンドン）	35,007	36,721
スコットランド	1,564	1,482
ウェールズ	1,044	1,078
北アイルランド	204	202
その他の諸島	107	104
合計	64,969	67,998

地域・都市別では大ロンドン市に住む邦人が全体の約 54%を占めている。増減では留学生・研究者・教師及び家族の減少が大きく、永住者が 854 人増加している。
（資料提供：在英国日本国大使館）

「掛け替えのない経験でした」

日本人学校前事務局長 管野秀一



18年間の勤務を終え、平成 29 年 3 月末をもってロンドン日本人学校有限会社を退職いたしました。

これまで大過なく事務局長をやってこられましたのは偏に、日本人学校の母体となった日本クラブや日本人学校理事会、在外公館をはじめとする学校関係者各位のご支援のお陰です。心より感謝いたします。

1999 年の 4 月にそれまでとは全く違う学校という職場に着任して以来、日本人学校と補習授業校の 13 名の校長先生を含め 200 名以上もの派遣の先生方や多くの現地採用の先生及び講師の皆さん、事務局の人たちと共に仕事をし、教育の何たるかを教えていただけたことは、掛け替えのない経験となりました。

日本人学校では屈託のない純粋な小学部低学年生、そうした子どもたちのお兄ちゃんお姉ちゃんに成長していく

中・高学年の子どもたち、日々大人へと変貌していく中学部の生徒たちからも多くのことを学ぶことが出来ました。

校長代行を兼務した補習授業校では、日本とはまったく異なる環境の中で、現地の学校と補習授業校を両立させながら日本語や国語を学ぶ数多くの児童生徒の逞しさに元気をもらいました。

第二の職場として、ロンドン日本人学校及びロンドン補習授業校という人を育み育てる教育の場で働くことができたことは、たいへん幸せなことでした。両校の今後益々の発展を祈りつつ彼の地へ帰ります。いつの日か再び、ここロンドンの地で皆様とお会いできれば幸いです。

最後に、居ない方が良かったのか、これまで何一つ愚痴をこぼさず単身赴任を許してくれた妻と家族の者にも感謝したいと思います。

皆様、長い間、ありがとうございました。 管野秀一

＜後任は竹中聡氏＞管野秀一事務局長の後任には、昨年より補習授業校事務長を務めている竹中聡氏が就任した。竹中氏は1984年国際基督教大学卒業後、日米英の銀行で為替業務に従事後、英国の先物取引所、東京証券取引所勤務、その後香港企業の東証上場に係った。ロンドン在住27年、神戸市出身



正しさの証明

あるくつろいだ午後のこと、災難は突然降りかかってきました。玄関に郵便が来た気配を感じたので行ってみると、税務署からの茶色い封筒が床に落ちていました。

次の確定申告のお知らせかと思い開けてみると、晴天の霹靂の通知内容でした。昨年度の確定申告がされておらず、税金も未納で、期限を過ぎていたため、超過料金がかかるというものだったのです。

「えっ！それは昨年の5月にさっさと行い、税金もすべて納めているのに？？？」

狐につままれたようでしたが、この汚名はすぐに晴らさなければならないと、必要書類を揃えて税務署に電話しました。

手紙に書かれている電話番号にかけましたが、要件別に番号を選択していかないと担当部署につなげてもらえません。私の用件はどの範疇に入るのか、最初に聞いただけではよくわからず、再度同じ電話番号にかけて、「これかな」と思う番号を押してみました。そこからまた長いのです。皆様ご承知のように、担当の人がだれか電話にでるまで、延々と待つことしきりでした。

電話に出たのは、いつも文句を言う人や、分からない人を相手にしていて、相当嫌になっている感じいっぱいの物憂げな女性でした。私がナショナル・インシュアラ

ンス・ナンバーやら自己証明をする内容を言っても、「いえ、あなたは確定申告しておらず、税金も払っていない！」

と、きっぱり言われ、唖然としました。

しかし、ここでくじけてはならないと、気を取り直し、「でもこういう番号で、何月何日にそちらから税金の算定をもらい、何月何日に全額払っているんです」

と、伝えました。

すると、向こうでカチャカチャとコンピューターを操作する音が聞こえ、しばらく待たされました。

次に聞こえてきたのは、別人のように張りのある声で、"You are right!" という言葉でした。そして電話の向こうでも椅子に座り直し、コンピューターのスクリーンに真剣に向き直った様子が分かるほどの態度の変わりようでした。久しぶりに真つ当な仕事をしているという気の入れようで、「全て修正したので、1週間以内にまた手紙が行くから」ということで、会話が終わりそうになりました。「いやあ、こちらはすごいショックを受けたんですよ。一体どうしたんですか」と原因究明すると、「違うファイルに入っていた」という返事でした。

最後まで、「すみません」という謝罪はなしでしたが、間違いを正されただけで『よし』としましょう。イギリスでは正しいことを行うだけではだめで、その正しさを証明することが必要となるようです。

大谷 圭先生の後任は林 弘子先生



慈恵医大からの派遣では女性は初めてのケースである。専門は慢性腎炎などの腎臓・高血圧疾患、日本クラブでは総合診療と内科の担当をする。企業の産業医として海外へ赴任する社員と家族の健康管理をしたり、海外へ出ることが多いパイロットや訓練生の食事や住環境の管理をしたこともあり、海外派遣と健康に関してはすでに10年以上のキャリアを持つ。気楽に健康相談に来てほしいと言う。

昔からロンドンが好きで学生のころから数えて8回も

慈恵医大からの派遣では女性は初めてのケースである。専門は慢性腎炎などの腎臓・高血圧疾患、日本クラブでは総合診療と内科の担当をする。企業の産業医として海外へ赴任する社員と家族の健康管理をしたり、海外へ出ることが多いパイロットや訓練生の食事や住環境の管理をしたこともあり、海外派遣と健康に関してはすでに10年以上のキャリアを持つ。気楽に健康相談に来てほしいと言う。

旅行で訪ねている。ロンドンの何が好きということではなく、ロンドンにいと何か落ち着いた安心感のようなものを感じるようだ。8歳になる息子さんと自然史博物館へ何日も通ったこともあると言う。今回も手を挙げてロンドン行きを希望した。イギリス好きはそれだけではない。すでに引退しているご主人はロンドンでずっと仕事をして来て英国の永住権を持っている。そのために結婚したわけではないが、イギリスが二人を結び付けたのは間違いなさそうだ。

派遣教員名簿（平成29年度着任）

ロンドン日本人学校

教諭	長谷川健吾	北海道
教諭	永吉 幸雄	鹿児島県
教諭	長友 強	宮崎県
教諭	玉城 弥生	福岡県

ロンドン補習授業校

教諭	高橋 敬夫	宮城県
----	-------	-----

日本クラブ理事の交代

- ◆副会長：中井拓志氏より鈴木英樹氏へ（ともに日本郵船）
- ◆副会長：高橋明彦氏より平野智彦氏へ（ともに丸紅）
- ◆会員サービス（正）：市原信二氏より岡本和夫氏へ（ともに三菱重工）

退会届をお忘れなく

日本へ帰任なさる方は忘れずに日本クラブへ退会届を提出してください。退会届はホームページからダウンロード出来ます。

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）
charles.nishikawa@btinternet.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(http://ycbc.co.uk/)
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：mail@tokukojay.demon.co.uk
（大谷トク子）

日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆会 場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々のショップやレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ（www.nipponclub.co.uk）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- *建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- *開館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL：020-7921-9490, Email：jimukyoku@nipponclub.co.uk
月曜～金曜：午前10～午後9時（事務局は午後6時まで）
土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）
日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、ブレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
小児科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)
60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121
(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)